

観光協会の新しい仲間を紹介します！

皆さん、はじめまして！

昨年の10月より、西ノ島町観光協会の職員として採用されました、土井 康生（どい こうき）と申します。出身は広島県です。

隠岐に来て3年半になりますが、最初の3年間は知夫村で地域おこし協力隊として観光業務に従事していました。地域おこし協力隊の任期終了後も「隠岐に住みたい」「観光の仕事がしたい」という想いから、西ノ島町観光協会を志望致しました。

趣味はロードバイクとシーカヤック、好きなことは食べることです。西ノ島のご飯が美味しすぎて、4か月で体重が5キロ増えました・・・(笑)

まだまだ西ノ島について知らないことも多く、色々教えてほしいので、気軽に声をかけていただくと幸いです。よろしくお願いします！



発見！ 西ノ島の自然の魅力 Vol.35 『ニホンアカガエルの卵塊』

ある冬の朝、近所の方に誘われてご自宅の庭にある池を見に行ったところ、たくさんのニホンアカガエルの卵塊が産み落とされていました。

ニホンアカガエルは本州から九州、周辺の離島に分布している日本の固有種です。姿は隠岐固有の亜種であるオキタゴガエルに似ていますが、主に溪流の周りや伏流水内で産卵するオキタゴガエルに対し、ニホンアカガエルは平地の池や水田、水溜まりなどに産卵します。つまり、西ノ島の民家の周辺で見られる卵塊は、ほとんどニホンアカガエルと思われる。

現在、西ノ島にニホンアカガエルが産卵できる場所がどれほど残っているのか不明ですが、水田があった頃には相当な数がいたことでしょう。産卵の時期は1～2月ですので、卵塊を見つけたらそっと見守ってあげてくださいね。

文・写真：江崎 逸郎（元西ノ島町観光協会職員 北海道苫小牧市在住）



▲ニホンアカガエルの卵塊

香港の旧正月

梅のつぼみが春を知らせる季節となりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

今年の旧正月の元日は2月5日（火）ですので、今回も我が家の旧正月の習慣についてお話ししたいと思います。



国際交流員
ウォン・チンイン・クレオ



香港では旧正月の挨拶回りに行く時に、お土産などは持っていくますか？

持っていきます！基本的にはチョコレートやお菓子のセットを用意しますが、年配の方のお家へ訪問する時は主にエッグロール（広東語：ガイダンギョ）を持っていきます。エッグロールとは卵とバターを使った生地を薄く焼いて巻いたお菓子で、日本の有名なお菓子に似ています！

我が家には毎年親戚や両親の知り合いが挨拶に来るので、いただくギフトも多く、3人では食べきれないので、学校でクラスメイト達と一緒に食べていました。



香港の旧正月の時に必ず食べる料理や品物はありますか？

いっぱいありますよ～♪ 日本の正月みたいに、旧正月の時は縁起の良い食べ物を食べます。たとえば...

- ① 魚：広東語で「魚」は、あまりの「余」（繁体字表記「餘」）と同じ発音ですので、「ものが無くならないように」という意味になります。
- ② エビ：広東語でエビの「蝦」は、笑い声「哈」と同じ発音ですので、「よく笑う年になりますように」という意味になります。
- ③ レタス：広東語でレタスは「生菜」と言い、お金がいっぱい付いてくる「生財」と同じ発音ですので、レタスを食べたら「お金が付いてくる」という意味になります。



旧正月の時にやってはいけないことやタブーはありますか？

ありますよ～♪ 特に...

- ① 泣いてはいけません！ でないと、その年は泣いて過ごすことになります！（マージャンで大負けしても泣いてはいけませんよww）
- ② 怒ってはいけません！ 旧正月は家族団らんの時期で、皆で仲良く、元気よく過ごす時期ですから、喧嘩もだめですよ。
- ③ 本を買ったりはしません！ 広東語で本は「書」と書いて、負けるの「輸」と同じ発音ですので、本を買ったら同音異義で「負けを買う」ことになります。あとは縁起の悪い話やお化けの話も禁止です！



花も飾りますよ！

広東語で「ファホイフグァイ花開富貴」、 「花が開いて開運出世になる」という意味になります。

旧正月の時はよくスイセン（左）、牡丹や蘭の花などを飾ります。中華文化では桃の花（右）を飾ると、ご縁が運ばれてくると言われています！